

特定非営利活動法人気候ネットワーク 2015 年度活動報告

I 全体的な状況

2015 年度は、パリ会議（COP21）の合意に向けて焦点を当てた活動を行った。国際交渉への参加・情報発信に加えて、国際交渉への対応として、Climate Action Network Japan (CAN-Japan) を構成する団体（14）と連携した活動を行った。国内では、「Climate Action Now!」キャンペーンを他の団体（119）と連携して展開した。その一環として、COP21 直前に東京と京都で「アースパレード 2015」を実施し、効果的なアピールをすることができた。世界の市民・NGO との連携もあり、パリ協定が合意され、世界の温暖化対策が新たな段階に入ったと言える。

国内では、パリ合意に向けての意欲的な方針・行動がなく、パリ協定の合意を受けた動きもほとんど見られない状況が続いている。そのため、気候変動の科学・国際社会が求めている削減目標や、包括的な法律、効果的な政策・計画が不在のままである。

気候ネットワークは、重点政策を定めて対応し活動を展開した。国際交渉に関する活動に加えて、エネルギー・ヴェンデ（脱石炭・再エネ・省エネ・脱原発）を掲げて活動した。他の組織との連携を一層強化して活動を展開することを目指し、同時にネットワーク組織として、地域組織との連携・支援、人材育成など、これまでの実績やネットワークを活かした活動に取り組んだ。

II 重点方針に関する活動

2015 年度の初めに作成した活動重点方針について報告する。

1. Climate Action Now! キャンペーン

パリ会議の成功をめざして、国内でのアピールを中心として、キャンペーンを他の組織等と連携して行った。ウェブの作成・運用、プラットフォーム機能、具体的アクションを展開し、11月28日（東京）、29日（京都）に「アースパレード 2015」を実施した。世界の動きと連動することで、パリ協定の合意につながった。

2. パリ合意に向けた国際交渉

COP21 での望ましい合意に向けた活動を行った。CAN インターナショナルのノード及び CAN-Japan の事務局役を担い、他団体と連携し、ネットワークを広げながら、情報収集・発信、意見交換、Kiko の発行などに取り組んだ。

2015 年度には次の会議が開催された。

SB42・ADP2-9：ドイツ・ボン、6月1日～11日

ADP2-10：ドイツ・ボン、8月31日～9月4日

ADP2-11：ドイツ・ボン、10月19日～23日

COP21/CMP11・SB43・ADP2-12：フランス・パリ、11月30日～12月12日

3. エネルギーヴェンデ（大転換）

脱石炭・再エネ普及・省エネ・脱原発を含めたエネルギーヴェンデを進めるための活動として、関連する調査研究、情報発信、提言等を行った。

国内では温暖化対策全体が危機的な状況にあり、重要な政策課題として、石炭火力発電所新規建設計画の増加がある。石炭計画をウォッチするサイト「sekitan.jp」を運営し、環境アセスメントの手続きに入ったものについては一件ずつ追った。また国内外の石炭関連の問題について、他の団体と連携して情報発信等に取り組んだ。こうした取り組みを通じて、幅広い情報提供を行うことで新聞掲載等につながり、一定の認識拡大につながった。しかしながら、計画・

建設の中止には至っていない状況がある。電力全面小売自由化が 2016 年 4 月からスタートすることに合わせての活動としてキャンペーンや情報提供にも取り組んだ。

4. 温暖化防止教育展開

京都市等との連携で「こどもエコライフチャレンジ」で京都市立全小学校における温暖化防止教育プログラムを実施した。その経験を他地域に展開する活動を行い、同様のプログラムあるいは参考としたプログラムの実施地域が増加した。また、マレーシアのイスカンダル開発地域での連携がすすみ、当地での全小学校でプログラムが実施された。JICA の助成事業も開始し、今後もさらなる進展が期待される。

III その他の活動

1 セミナー・シンポジウム等

国際交渉・国内対策等の動向にあわせて、セミナー・シンポジウム・報告会を開催した（別表）。

2 助成・受託・補助事業

実施した助成事業は次のとおり。

- ・ 地球環境基金「2050 年低炭素ビジョン実現プロジェクト」
- ・ 三井物産環境基金「環境教育モデルスタンダード普及」
- ・ 日立環境財団「地域エネルギー自立推進のための日本版クオリティ・マネジメント」
- ・ 京都地域創造基金「低炭素のまち京都をつくるプロジェクト」
- ・ 2 月より、JICA 草の根技術協力事業（京都市環境保全活動推進協会との共同事業）

実施した受託・補助事業は次のとおり。

- ・ 京都市：こどもエコライフチャレンジ、環境家計簿インターネット版
- ・ 京都市環境保全活動推進協会：自然エネルギー学校・京都2015
- ・ 八尾市：温暖化対策会議コーディネート、計画策定支援

3 情報発信・発行物

気候ネットワーク通信（102号～107号）の発行

メールマガジン（138号～159号）の発行

ホームページの更新、SNSの活用

4 組織強化・人材育成

会員増加・寄付金増加のための活動に取り組んだ。大幅な会員・寄付金増加には至らなかったが、新規入会、継続的な寄付があり、組織基盤の充実につながった。

インターン（大学コンソーシアム京都、損保ジャパン日本興亜環境財団、京都大学、立命館大学、京都女子大学、京都精華大学、ハーグ大学、エディンバラ大学、上智大学）、ボランティアを積極的に受け入れ、活動の活性化と人材育成に取り組んだ。

6 その他

国内外の温暖化政策・対策、先進事例等に関する調査・研究。他のNGOやネットワーク、地域組織等と継続的な支援・連携活動を行った。自治体との連携・アドバイス。温暖化問題に関する講演・執筆を多数行った。

セミナー・シンポジウム・報告会（別表）

セミナー・シンポジウム(主催)	日程	実施場所
地球温暖化とエネルギー 「電気を選ぶ時代がやってくる！ 原発？石炭？再生可能エネルギー？」[仙台]	4月26日	仙台
クライメート・アクション・ナウ シンポジウム 世界の削減目 標とふくしまエネルギー・ヴェンデ [京都]	5月31日	京都
今、日本が選ぶべき道は石炭なのか？ーモザンビークの現地報 告から日本の石炭推進を考えるー[東京]	7月16日	東京
ほんまに大丈夫なん？エネルギー・地球温暖化問題～増え続け る石炭火力発電所建設計画とその問題点～ [大阪]	7月29日	大阪
Climate Action Now！シンポジウム「市民が進める温暖化防止 2015 ～パリ会議まで50日！～」[京都]	10月10日	京都
低炭素社会実現へ向けた地域の取り組み～京都市低炭素社会シ ナリオから～ [京都]	10月21日	京都
フォーラム：温暖化対策の危機を乗り越える ～兵庫の石炭火力 発電所の新設をめぐる～[兵庫]	11月10日	兵庫
地球温暖化防止セミナーin金沢～2050年の脱炭素をめざして～ [金沢]	2月20日	金沢
再エネ×パリ協定 なじょすつふくしまシンポジウム ～ふく しま発・再生可能エネルギーで描く持続可能な未来～ [福島]	3月22日	福島
脱炭素実現に向けた地域の温暖化対策 ～東京都の気候変動対 策・排出量取引制度の成果と展望～ [京都]	3月28日	京都
セミナー・シンポジウム（共催等）	日程	実施場所
みんなで書こう！パブコメセミナー[東京]	6月18日	東京
今、日本が選ぶべき道は石炭なのか？ーモザンビークの現地報 告から日本の石炭推進を考えるー[東京]	7月16日	東京
おだやかな農漁村を脅かす日本の石炭発電ーインドネシア現 地・バタンからの声ー[東京]	7月30日	東京
おだやかな農漁村を脅かす日本の石炭発電ーインドネシア現 地・バタンからの声ー[京都]	8月1日	京都
全国節電所フォーラム 2015 つくろう、ひろげよう節電所 ～戦 略的省エネに取り組む市民・地域～ [東京]	10月31日	東京

フォーラム 2030 大学 CO2 排出削減宣言に向けて～京都からパリへのメッセージ～ [京都]	11月7日	京都
セミナー「国際問題化する石炭支援～国際交渉の最新動向とJBIC 投融資事業の実態～」 [東京]	11月11日	東京
Climate Action Now! 気候変動とエネルギー 「2050年の未来を想像してみよう」 [川崎]	11月15日	神奈川
ミャンマー住民が来日報告! COP21 直前セミナー 「村の未来は石炭火力発電では創れない」—ミャンマー各地から日本へのメッセージ—【東京】	11月27日	東京
エコチャレ・サミット～エコライフチャレンジの10年間を振り返って～【京都】	12月18日	京都
COP21 パリ会議報告会～京都で考える温暖化防止の「パリ協定」～ [京都]	1月18日	京都